

スキルアップセミナー

ダイバーシティ・マネジメント

～イノベーションが起きる風土づくりのために「無意識の偏見」に気付く！～

講師：張 琴 氏 株式会社PHP研究所 講師

今、私たちは、一部の国が工業化への歩みをはじめたとき以来の大きな変化を経験していると言われています。イノベーションなくして社員と企業は生き残ることが容易ではありません。

この大きな変化を目の前にして、過去の経験や習慣、企業文化や組織風土から身についたアンコンシャス・バイアスは、イノベーションを生み出す妨げとなる可能性が高くなります。

アンコンシャス・バイアスとは、「無意識の偏見」「無意識の思い込み」とされる概念、自分自身が気づいていないものの見方や捉え方のゆがみ・偏りを表します。

本セミナーでは、自分自身の「無意識の思い込み」に気付き、モノゴトの認識を変えることで発想が広がり、新たなビジネスチャンスを生み出す術をお伝えいたします。是非、ご参加ください。

日時 令和元年11月26日(火) 10:00～17:00

会場 ちゅうぎん岡山駅前ビル 4F 会議室

セミナーカリキュラム

1

誰にでもあるアンコンシャス・バイアス (無意識の偏見)

- (1) アンコンシャス・バイアスとは何か
- (2) セルフチェックシートで自身のアンコンシャス・バイアスと向き合う

2

アンコンシャス・バイアスの何が問題 なのかに気づく

- (1) 問題の本質はどこにあるのか
- (2) 何がカギを握るのか
- (3) アンコンシャス・バイアスの正体
 - ・アンコンシャス・バイアスに気づくことで得られるものとは
 - ・現状の関係性を見つめ直す
 - ・新しい関係を築くポイント
 - ・ハラスメントをエンパワーメントに変える

3

個人と組織のアンコンシャス・バイアス

- (1) ダイバーシティとリーダーの役割
- (2) 組織的なアンコンシャス・バイアスと本質的な課題

4

アンコンシャス・バイアスに振り回されない ための「行動原則」と「心の姿勢」

- (1) 3つの行動原則
- (2) 非言語メッセージに目を向ける

まとめ

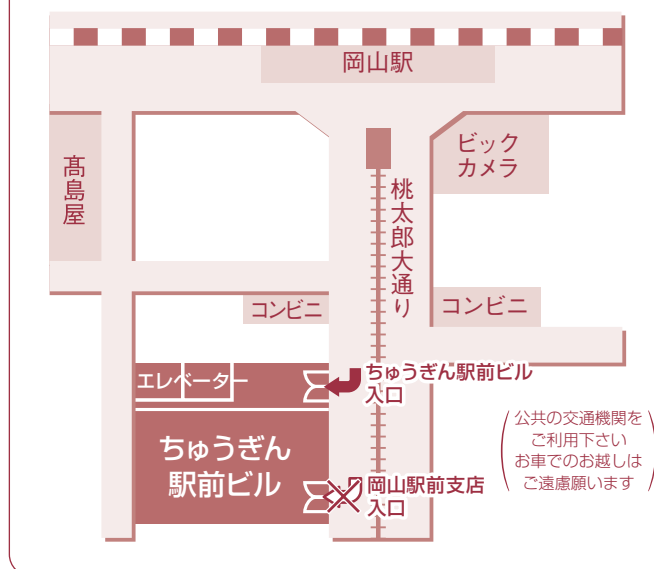
主催 中国銀行・岡山経済研究所

ちょう こと
張 琴氏 プロフィール

株式会社 PHP 研究所講師

フリーアナウンサー、会社経営を経て人材開発コンサルタント。大手から中小企業まで、多階層・多テーマを担当。経営層へのコンサルティングはもとより、教育計画や体系づくりへの落とし込みから参画し、マネジメント、リーダーシップ、問題解決、コーチング、ファシリテーション、ロジカル系、CS、キャリア、女性管理職登用など、業績向上と経営課題の解決に直結した付加価値の高い研修で絶大な信頼を受ける。

【会場案内図】



●対象者・定員／経営幹部・管理職・リーダーの方々 30名

●参加費 (テキスト代、消費税含む)

維持会員	6,600円
賛助会員	8,800円
会員でない方	13,200円

※昼食は各自でご用意ください。

●お申込み方法

1. 参加申込書にご記入の上、中国銀行本・支店の窓口、または岡山経済研究所までお早めにお申し込み下さい。当研究所のホームページからもお申し込みいただけます。
2. 開催日の約2週間前をめぐり、受講票と請求書、振込用紙をお送りします。開催日の前日までに振り込み下さい。

●締切り／11月22日(金)

(定員になり次第、締め切らせていただきます)

●その他

- ・ご都合により代理出席も差し支えありません。
- ・参加費は、ご欠席の場合も原則としてお返しいたしません。
- ・録音はご遠慮下さい。

●お問い合わせ先

岡山経済研究所
TEL 086-234-6534
FAX 086-231-5303
E-mail ori@mx.mesh.ne.jp
URL <http://www.okayama-eri.or.jp/>

----- キリトリ線 -----

至 岡山経済研究所
FAX 086-231-5303

『ダイバーシティ・マネジメント』11/26 参加申込書

		令和		年	月	日
フリガナ		電話番号	()	-		
会社名		FAX番号	()	-		
		担当者役職・氏名				
所在地	□□□□-□□□□					
会員区分	ア. 維持会員 イ. 賛助会員 ウ. 会員でない方 (該当に○印をおつけください)					
参加者氏名	所属・担当	氏名	年齢	所属・担当	氏名	年齢
	所属・担当	氏名	年齢	所属・担当	氏名	年齢

維持会員……年会費3万円の方 賛助会員……年会費1万円の方

当参加申込書にご記入いただいた情報は、受講票の交付、出欠の確認など、当セミナーの運営管理業務の目的のみに使用させていただきます。